

鳶巣コセン便

第 493 号 (令和7年6月5日)

発行：鳶巣コミュニティセンター

電 話：21-0174 Fax：21-0176

E-mail：tobisu-cc@local.city.izumo.shimane.jp

■ 人 口：1,558人 (前月 -1)

■ 5月のコミセン利用者：2,941人



【早苗田に映る一畑電車】

第30回初夏の鳶巣健康ウォーク開催

30年間一度も中止になったことのない「初夏の鳶巣健康ウォーク」が、今年も天気にも恵まれた6月1日(日)に開催され、雨が降らないというジンクスを更新することができました。参加者はスタッフを合わせ140人。新川桜土手では爽やかな初夏の風を感じ、伊努神社では木漏れ日の中で島根の巨木に認定されているケヤキの木を眺めながらアイスクリームを食べて休憩、島根県立大学のキャンパス内を抜け、出雲市総合体育館を巡る約5キロのコースを2時間かけ全員が完歩しました。

参加者からは、「鳶巣についてよく知れて良かった」「豚汁が最高に美味しかった」「これからウォーキングを日課にして、また参加したい」などの嬉しい感想をたくさんいただきました。このウォーク事業が、健康寿命を延ばすきっかけになれば幸いです。



北陽小学校の総合的な学習の時間への協力(3年生竹箸づくり・4年生環境学習)

鳶巣地区の豊かな自然を活用した北陽小学校の「総合的な学習の時間」が今年度も始まりました。3年生は「竹の学習」、4年生は「湯屋谷川などを活用した環境学習」、5年生は「鳶ヶ巣山」について、それぞれ地区のボランティアの皆さんの協力を得ながら授業が展開されました。

5月14日(水)には、学習公開日に併せて「竹箸づくり」があり、8人のボランティアスタッフから小刀の使い方についてレクチャーを受けた後、親子で竹箸を作りました。また、5月21日(水)には、4人のボランティアスタッフから、湯屋谷川に住む生き物を観察し、生息しているホタルなどについて話を聞きました。

総合的な学習の時間の支援をするために、ボランティアスタッフもしっかりとした事前準備をして対応していますが、こうした時間や係わりをとおして、子供たちが「ふるさとに対する理解と愛着やほこり」を持ってくれることを願っています。



【小刀の使い方】



【親子で竹の箸づくり】



【湯屋谷川に入って探検中】

